

子どもを犯罪被害や有害な環境から守ろう!



進級・進学時は、周囲の環境や人間関係の変化などから、非行に走ったり、犯罪被害にあうケースも少なくありません。
また、進級・進学を機に、スマートフォンを購入する保護者の方も多いと思いますが、使い方によっては、子どもが被害者や加害者になったりすることもあるため、注意してください。

非行の兆しを見逃さない


兆しを発見するポイント

- ・行き先を言わず外出したり、帰りが遅くなる。
- ・買い与えていないものを持っている。
- ・片時もスマートフォンを離さない。
- ・対話を避けたり、嘘をつくようになる。 など

このような兆候に注意し、
社会のルールやマナーを守り、
自分自身を大切にすることを教えましょう。



スマートフォンを持たせる場合

 子どもと一緒に利用や課金のルールを決めておく

 フィルタリング・ペアレンタルコントロール（スマホを管理・制限する機能）を利用する

✕ 名前
顔写真
学校名



ルールの一例

- 1日〇時間まで。
- 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に確認する。
- 個人情報や、友達の悪口を書き込まない。
- 知らない人とのメッセージのやりとりはしない、会わない。
- 下着や裸の写真は撮らない、撮らせない。
- トラブルが起きたらすぐに相談する。